

地方が抱えるコストと時間の距離ハンディをITによってどこまで克服し、活用できるのか。集積地と結び付く利便性を得ることが、地方にとって必ずしも有利に働かないことは、航空機、新幹線、高速道路という高速旅客交通の歴史が物語っています。ここでは、利便の道具を有効に使いこなす地域の知恵が勝負となります。ITの動きは高度な技術を伴っていることから、ややもすると供給者側の論理に振り回される危険性も内在しています。地域が本当に必要とするものは何か。ユーザーの視点からの取り組みが求められます。(S.K)

世の中が大きく変わる——ITにはそんなイメージがあったのですが、現実にはそれを使いこなす技術や活用法、さまざまな制度など、乗り越えなければならぬ壁がたくさん存在していると感じました。しかし、今までは集積地を経由していたものがeコマースの活用で地方と地方が直接取り引きできるようになったり、メールによって新しい交流の輪が生まれるなど、これまでとは違った形のネットワークが見られています。これまでの形式にとらわれず、柔軟な考え方で、新しい発想を生み出していくことができないでしょうか。(M.S)

●『マルシェノルド』へご意見・ご感想をお寄せください。
〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌ビル
(財)北海道開発協会 企画広報部

地域経済レポート

『マルシェノルド』係 まで

●表紙の切り絵作家

三苦 麻由子

東京都出身。武蔵野美術短大卒業後、広告代理店勤務などを経てフリーに。'94年札幌へ。みとまゆこのペンネームで、水彩、ペン、墨絵、切り絵など、さまざまなタッチでジャンルにこだわらず活躍中。本誌の表紙は、毎号テーマのイメージによるオリジナル作品を掲載。

●「マルシェ:marché」とはフランス語で市場のことで、同音の「マルシェ:marcher」には歩む、行進する、進歩するという意味もあります。北海道(ノルド:nord||北)が多くの人々が集い、交流し、活気あふれる地域へ発展するようにとの願いを込めて名付けられた情報誌が「マルシェノルド」です。地域を考えるきっかけとなるように、毎号、地域経済特有のテーマを取り上げてまいります。

●理解を深めるために……

Books

※地域情報化事例

『日経地域情報』(No.350~362)
日経産業消費研究所

※サッポロバレー

『サッポロバレーの誕生～情報ベンチャーの20年』
北海道情報産業史編集委員会編/イエローページ、2000

『サッポロバレー・コア・ネットワーク』
日本政策投資銀行北海道支店、2000

※その他

『IT革命とモバイルの経済学』
山崎朗・玉田洋編著/東洋経済新報社、2000

『どうなる日本のIT革命』
土志田征一/日本経済研究センター編、2000

『しゅりばり』No.222
(社)北海道開発問題研究調査会、2000.8月号